

議会だより

定例会

令和4年第3回定例会は9月14日に招集され、提出された案件を審議し16日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 8月1日
- 調査事項 「橋梁及び河川改修工事等の施工状況について」「ひまわりの里の開花状況及び運営状況について」
- 調査結果 指摘事項なし

- 調査期日 8月23日
- 調査事項 義務教育学校（比布中央学校）について
- 調査結果 義務教育学校について学び、理解を深めた

承認

- 専決処分の承認を求めることについて
- 令和4年度北竜町一般会計補正予算（第5号）について
- 令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第2号）について

- 令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について

同意

- 名譽町民の推戴について
本町農業の発展に寄与したため
黄倉 良二 氏

- 教育長の任命について

- 9月30日任期満了のため
任命に同意
有馬 一志 氏（再）

- 教育委員会委員の任命について

- 9月30日前任者任期満了のため任命に同意
佐藤 裕子 氏（新）

- 公平委員会委員の

- 選任について
10月3日任期満了のため
任命に同意
高畑 克洋 氏（再）

原案可決

- 北竜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- 令和4年度北竜町一般会計補正予算（第6号）について
- 令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

- 令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第3号）について

- 令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算（第2号）について

認定

- 令和3年度北竜町一般会計外6会計（国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水）の歳入歳出決算認定と令和3年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

決算審査特別委員会（藤井雅仁委員長）を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

- 次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○ 生産資材高騰に関する要望意見書
○ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

一般質問

9月14日に開会された第3回定例会では、3名の議員から5件の一般質問がありました。



松永議員

河川整備について

松永議員

道河川と町河川がT字に交わる箇所、近年、少雨でも

流れが悪く被害が出ている。河川中央部の雑木が多く繁殖しており流れを阻害している

と思われるので整備願いたい。

佐野町長

これまで河道内における樹木伐採や堆積土砂等の除去といった河川維持管理は、災害歴のある河川や洪水の恐れがある箇所を中心に都度対応してきたが、平成28年の台風被害を教訓に、予防保全も考慮し計画的な維持管理に務める事となり、本町においても、令和6年度完了を目標に樹木伐採や堆積土砂除去を進めている。北海道も航空写真や既存資料、地元要望、被災状況等を参考にトータルコストを考慮しながら計画的に取り組んでいる。また、石狩川水系の流



松永議員

ひまわりの里の基本計画の進行状況について

松永議員

今年のひまわりの里の来場者数は。

佐野町長

観光バスや外国人観光客がほとんどない中、28万人と大変

域協議会では、治水における国、道、各市町村の取り組みに関する報告会や講習会を開催し、情報交換を行っている。

松永議員

近年、異常気象が頻発し、令和元年には大雨で災害寸前の箇所もあった事から、町長自ら、早急な整備を積極的に道に働きかけていただきたい。

佐野町長

町河川については、緊急性の高い箇所や町内会から要望があった箇所を順次計画的に緊急浚渫事業債等を活用し実施している。道河川についても、関係機関と十分協議し対応したい。

よる時間ごとの入込人数の集計と調査件数の累計を合わせ推計している。

松永議員

新展望台の基本設計はいつ完成するのか。

佐野町長

9月30日までの設計委託期間となっており、完了後、議会のまちづくり等調査特別委員会でも内容を報告する。

松永議員

展望台を管理、運営する組織を「法人化」すれば、国や道の補助金や助成金を活用しやすくなるのではないかと。

佐野町長

管理・運営については地方創生推進事業の中でも検討すると思うが、法人化については、運営組織の規模も含め適切な体制が確保されるよう協議を進めていきたい。

松永議員

法人化すれば、その組織で運営する事になり町にとって良い事だと思うが。

佐野町長

どの様な形がいいのか、今後、関係機関と十分協議していきたい。



藤井議員

やわら保育園の昼食について

藤井議員

やわら保育園園児保護者より、お産前後等で子供のお弁当作りが負担となる事がある。大きな町では給食や弁当配達等のサービスを利用できるケースがあり、そのようなサービスが必要と思うが、考えを伺う。

佐野町長

認定こども園や認可保育園においては、調理室を設置し、

給食を提供する事が義務付けられているが、本町は無認可の保育園であり、そういった義務はない。

以前より、保護者から給食を提供してほしいとの要望が寄せられているが、現在の保育園に調理室を設置する事は難しい。提供方法や発注先等、保護者の方々にとってより良い保育環境を提供できるように検討する。



藤井議員

ひまわりまつり時の通行車両の混雑解消について

藤井議員

今年度、ひまわりの里に28万人の来場者があった。札幌方面からの車両は隣のドライン付近まで渋滞を起こ

し非常に危険だ。

ひまわりまつりの途中で警察よりう回路の設置、誘導の注意を受けたと聞いたがどの様な対応をしたのか。又交通

渋滞を緩和する為、過去にも
う回路や新設の道路の検討が
されたと思うがどの様な結果
か伺う。

佐野町長

8月上旬（土日等）に国道
275号線で渋滞が発生し
た。町として、混雑解消の為
早めに駐車誘導や中学校のサ
ブグラウンドへの臨時駐車等対
策を講じたが想定を超える車
両で、町民、通過車両、各関
係機関に多大なご迷惑をお掛

けた事に心よりお詫び申し
上げます。

又、深川警察署には、う回
路、里への進入車両に対して、
左寄りのお願ひ表示等、渋滞
解消に向けた細かいアドバイ
スを頂き感謝申し上げます。
過去にも、駐車場拡張や国
道出入口の拡幅などの対応を
してきたが、更なる対応につ
いては各団体、関係機関等に
もご意見を伺い検討していく。



尾崎議員

農林水産省《みどりの食料 システム戦略》に沿う北竜 町農業が目指すもの

尾崎議員

農政の大きな変換によって
農業が基幹産業である北竜町
の目指す具体的方向性を確立
させる事が急務である。農林
水産省《みどりの食料システ
ム戦略》は近年の異常気象に
よる世界的な災害や地球環境
の危機の増大が招く農業食料
危機と、生物多様性の損失等
を危惧しての対策と言える。

佐野町長

諸外国においては、SDGs
や環境重視が加速しCO₂排

水田活用直接支払交付金見

直しの農業政策の変換に、町
長はじめ各団体長のご尽力も
あり農業寿命を延ばしたとこ
ろだが、この間に方策を構築
しなければならない。

今、理事者がどのように考
えを進めているか伺いたい。

出ゼロや化学農薬・肥料の使
用量低減、有機農業面積の拡
大など14項目の目標に向けた
取り組みが示されている。

みどりの食料システム戦略
では、有機農業の推進や産地
展開等の取り組みを実践する
為、持続可能な食料システム
の構築に向かい関係者が一体
となり取り組むもの。

水田活用直接交付金の見直
しは、一定期間水張りのない
水田の交付金対象農地を外
し、排水対策を取り組み多年
生転作物で農業収入を確保
する方向性は農業者にとつて
大きな打撃が予想される為、
各団体と共に地域特性等に考
慮された見直しとなるよう要
請活動を行っている。

本町では、昭和63年より減
農薬栽培、平成16年には全農
家が使用農薬成分を慣行使用
の50%削減、農薬節減米、特
別栽培米、有機栽培米の令和
3年作付面積は全体の90%を
超える取り組みがなされ、ひ
まわりライス生産組合におい
てはネオニコチノイド系農薬
からの代替対策を進めている。
環境保全型農業直接支払交
付金は、有機農業4件、カバ

1クロップ5件、フェロモン
トラップ1件の取り組みを堅
持しながら、農業者、関係機
関の皆様と検討して参りたい。

尾崎議員

ネオニコチノイド系農薬使
用はこれまでも危惧されてい
たことであり、代替対策は「や
つと」という印象。

戦略に沿った『需要に応じ
た生産を考える』方向性の切
り口として、学校給食の問題
点から提案したい。北空知の
学校給食は地産地消がなされ
ているか？

米については全量一市四町
の米を使用。常用として味噌
や米油は深川市から。トマト
加工品やシイタケは沼田町か
ら。北空知以外からはタマネ
ギ・シメジ・もやし・葉もの
野菜・大根等で、人参・ピー
マン・キャベツ・胡瓜等、季
節の事情もあり道外からの野
菜が殆どである。本町の生産
物で使われているのは米だけ
である。

更に廃棄の問題であるが、
給食センターに回収される残
渣は年間14t。廃棄にかかる
委託料は月額198万円。
そこで提案したい事は、

○地産地消を目標にまずは給
食の材料提供として有機作物
を地元で栽培し、町政・農協や
各団体で協力的体制を作り、地域
で買い支え価格に反映させる。

○廃棄される残渣は家畜の飼
料や肥料に有効利用。

○給食で提供する食事の研究
と食育。

調理員の人数不足による作
業の困難で、令和3年度から
調理を委託している。おかず
品目はそれ自体が悪いわけ
ではないが冷凍食品等調理品を
使う事が多くなり、子ども達
は食べた事のない物は手をつ
けない傾向があるようだ。改
善したい問題が見えるのは、
大いに検討余地があると思う。

学校給食に地産地消、有機
への変換、廃棄を減らし家畜
飼料と堆肥を作り、環境に優
しい循環型農業経営は可能と
思われるか。

佐野町長

本町は学校給食にひまわり
油を提供した事があり、黒千
石大豆も加工品として提供し
ている。これからも学校給食
に食材協力できるよう努めて
いくのでご理解願いたい。

活動報告

【10月】

4日：北海道町村議会議員公務災害補償等組合決算監査
6日：北空知監査員研修会
(監査委員)

21日：議会運営委員会、第3回北竜町議会臨時会、深川市開村百三十年・市制施行六十年記念式典

24日：例月出納検査(監査委員)
25日：総務産業常任委員会、災害対策特別委員会
26～27日：第1回空知町村議会議長会総会

活動予定

【11月】

6～8日：空知町村議会議長会道外行財政制度政務調査
9日：全国議長大会
16～17日：監査委員・補助職員研修会(監査委員)
25日：北空知議会議長連絡協議会総会
22日：広域連合議会定例会

24日：北海道町村議会議員公務災害補償等組合臨時会、北海道町村議会議長会理事会
29日：中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会
30日：北竜町内団長会議
下旬：例月出納検査(監査委員)

第1回北竜町農業の未来を考える特別委員会開催

9月9日(金) 公民館にて農林水産省農産局企画課長三野敏克氏に講演いただいた。8月に予定していた中央要望が、コロナ感染症拡大の影響で中止となった為、水田活用交付金の見直しの要望書を直接届ける事は出来なかった。地域の声を聴くため農林水産省の三野氏が来町。旭川から北海道農政事務所、北空知より農協、土地改良区や関連団体、一市四町の議会等にご参集いただいた。

○講演より

農林水産業を取り巻く世界情勢の変化に対し水田から畑地への転換方針への理解を求めると共に、今後の農地の政

府の取り組みの説明と、需用に応じた生産を目指す循環型農業で安定供給の基盤強化に総合的支援を今後検討課題としたい等説明。

○質問事項として

・自らのブロックローテーションで生産調整し、それが出来ている。今後畑増加の作付に対する政府の考え。
・改良区賦課金、決済金、農地評価額に対する処置は。
・国内食料を確保することに国防予算をつけるべき。
・ミニマムアクセス米について 等々活発に出された。

三野氏は「北空知農業を力づける為に尽くしたい。積極的な意見を」と会を閉じた。

(広報特別委員会 尾崎)





米作りを始めようと思ったきっかけは、平成5年の冷害を消費者の立場で経験し、米作りの重要性を痛感したから。

北竜町に移り住んだのはその翌年で三女が保育園児だった。当時中学生の長男が、ずっと一緒に共に歩み農業を繋いでくれているのが何より心強い。各地で自然災害が起きて地震や水害で被害に見舞われている中、近年の自然変化に危機を感じながらも、何事もなく今年も収穫の秋に辿り着けたことに感謝。

コロナ禍で行事が相次いで中止になるこの2年余りだったが、今年は規制が緩和され、ひまわりまつりで満開のひまわりを観てもらえることが出来た。滞っていた議員研修で今年も香川県に飛び、同じくひまわりで町を興す、まん

う町を訪問した。猛暑に咽ぶ8月に、出穂が始まった稲、植えて1カ月程の稲、また見回せば田植え前もあり、これが二期作かと目を見張る。北海道

の農業者は凍る春から秋の収穫までノンストップの働き者。四季の景色が流れる中、「この移ろいを楽しみ過ぎ過ぎた」と北国の気候の宿命に、住めば都の「暮らしを愉しむ長い冬」も捨てがたい。

都会では食料の危機感か自宅の小さな畑やプランターに野菜を育て始める人が増えている。脅かされる戦争の影とそれに伴う物価上昇、世界で変わりつつある日本の存在感、地球環境の変化…。同じ時期に新規で米作りを始めた仲間が目指す無農薬栽培を実践し、農業に区切りをつけて先日町から離れた。また病気を患い

志半ばでご夫婦共に亡くなった仲間を憶うと、続けられたことが当たり前ではないと痛感。次に控える時代は更に平坦ではなさそうだ。

何をするにも『身体が資本』。食に携わる農業は身体をつくり命を養う。理想の熱量に厳しい現実を埋められるのか。北竜町の肥沃な土地と気候の豊かさに信頼を置き、努力を惜しまない技術向上、新たな発想と勤勉な労働。自信と希望を持ち続けていく為のエネルギーは社会の支えをいただくから。

コロナ感染症からの異常な程の『隔離』に本質から逸れていく疑問と違和感を覚えるこの時代。互いの支え合いは諦めず求めて行きたい。(ミサイルJアラートに驚かされた朝に：尾崎圭子)

議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和4年第3回定例会（会期：9月14日～16日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
専決処分の承認を求めることについて 〔令和4年度北竜町一般会計補正予算（第5号）について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の承認を求めることについて 〔令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第2号）について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の承認を求めることについて 〔令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
名誉町民の推戴について	○	○	○	○	○	△	○	-
教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町一般会計補正予算（第6号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 2件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 1件	質疑 0件	質疑 2件	質疑 0件	-

決算審査特別委員会（9月14日～16日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
令和3年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
令和3年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 16件	質疑 0件	質疑 3件	質疑 0件	-	質疑 7件	-	質疑 2件

決算審査特別委員会における議員質疑（意見付与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
<p>・ふるさと納税について ふるさと納税について「ひまわりライス」を中心とした北竜町の特産品が評価を受け、多くの寄付金を受けているところである。 ふるさと納税を推進するにあたり、ふるさと納税サイトを始め、北竜町のホームページの情報も重要となる為さらなるPRに努力願いたい。 これからさらに推進するに当たっては、ふるさと納税や特産品に関する仕事を統括する「ふるさと納税推進する専門の部署」等の設置を検討されたい。</p>	<p>返礼品の米袋や送料の値上げ等が課題となってきた。 インターネットで「ひまわり」と検索すると、「北竜町のひまわり」「ひまわりライス」がトップに出る様に知名度をあげ、ふるさと納税の推進に繋がる様に努力していきたい。 専門部署の設置については、定員管理の問題もあるが、積極的に推進していく。</p>

